



# 学校便り

広島市立日見中学校

令和4年12月8日

第14号

文責 校長 平野

師走となり、子ども達は一年の終わりと新年に備えるために、あわただしいながらも充実した日々を過ごしています。

本日は12月8日。この日が来る度に、私は母が話してくれていたことを思い出します。

～1941年12月8日～

「臨時ニュースを申し上げます。臨時ニュースを申し上げます。大本営発表。帝国陸海軍は、本8日未明、西太平洋においてアメリカ・イギリス軍と戦闘状態に入れり」そうラジオから流れてきた放送を聞「戦争が始まるのか・・・」と、子どもだった母は強い不安に襲われたということでした。

日本が真珠湾攻撃を行ったのが1941年12月8日。それから4年後の1945年8月15日に終戦を迎えました。

その間、年老いた祖父に代わり一家の大黒柱として頼りにされていた長兄が召集令状により戦地に赴き、お骨の代わりに石ころが入った箱を役場の人が届けて来たということでした。

兄の死を知った祖母は狂ったように泣いていたということです。そして、そのようなことは、日本、いや世界中で起きていたのです。

どんな時代、どこの国や地域の人であったとしても、だれも戦争の犠牲にするために子を育てる親はいなかったはずです。

人々は、このようなことが2度とあってはならないという決意を持つことになりました。



広島平和記念公園内慰霊碑

ところが、世界情勢は、今非常に不安定になり「2度と」が揺らぎ始めています。そのような時だからこそ、戦争の時代を生きの方達の「平和への想い」を、大切なバトンとして次の世代に渡す必要があるのだと考えています。

そこで、12月1日(木)に下記の取り組みを行いました。

## 【 パネルディスカッション 】

平和に対してどのように考え行動しているのかを、できるだけ生徒と年齢の近い方に尋ねたいと思い、パネリストには 高校生平和大使 安野美乃里氏と 交流証言者 山野湧水氏をファシリテーターにはフリーアナウンサーの前田真里氏をお招きしました。



事前に、それぞれの方の活動について調べたり、質問を考えたりする学習の時間を設けました。また、当日は、話を聞くだけでなく本校の取り組みについて意見を求めました。

裏面にも紹介しているので、ご覧ください。

## 【 行事予定 】

12月

9日(金) 合唱発表会・授業参観・育友会

16日(金) 生徒集会

22日(木) 大掃除

23日(金) 2学期終業式

1月

10日(火) 3学期始業式・実力テスト(1・2年)

11日(水) 実力テスト(1・2年)

## 【 パネルディスカッション 】

### 「 高校生平和大使や交流証言者と共に考える ～ 私たちが創る これからの平和な世界 ～ 」

#### 【 高校生平和大使 】

やすのみのり  
安野 美乃里 氏

県立長崎東高1年生  
第25代高校生平和大使



「きょうだいでバトンつなぐ」として長崎新聞に紹介されました。高校生平和大使は5年連続ノーベル平和賞候補になっています。合言葉は「微力だけど無力じゃない」です。

#### 平和へのメッセージ

皆さんと歳の近い私が、より身近な存在として、平和の「発信」をできたことは、すごく貴重な経験になりました。そして、目標である「若者で平和の基盤をつくる」ための第一歩につなげることができました。

平和について考えることは、少し難しくなってしまうこともあるけど、簡単なことから、自分にできることや、やってみたいことに、是非チャレンジしてみてください！

#### 【 被爆者との交流証言者 】

やまのゆうみ  
山野 湧水 氏

被爆者との交流を行い  
被爆の実相を「継承」



昨年、日見中で被爆者に代わり講話を実施  
タイトル「私の使命 ～25歳の語り部～」  
で、平和に関する取り組みが2021年に長崎ケーブルメディアにより放送されました。

#### 平和へのメッセージ

私が、池田さんをはじめとした被爆者のことを話すようになったのは、小学生のときの平和学習がきっかけです。遠い過去のこととか、どこか自分とは関係ない場所で起きたことなどにとらえていると、再び惨禍が繰り返されてしまうのではないのでしょうか。

「被爆者の方の想いを風化させない」ように、長崎の人の使命として、共に、平和の大切さを伝え広めていきましょう！

#### 【 フリーアナウンサー 】

まえだまり  
前田 真里 氏

ピース・バイ・ピース長崎代表  
長崎平和宣言の起草委員



長崎文化放送アナウンサーから、現在フリーアナウンサーとして活躍。  
ニューヨーク在住時は現地からレポート多数。

長崎平和宣言起草委員として「平和の文化」や「伝える」ことの大切さを提言しました。

#### 平和へのメッセージ

「平和は、私たちが創り上げるもの」  
日常の小さなところに平和はあります。自分、仲間を大切に。言葉や絵、写真など自分の想いをそれぞれの形にしてみてください！

あっという間で、しかも、背筋が伸びるような、かけがえのない時間をありがとうございました。私たちは今後も、「平和の文化」で平和を「創造」するために活動していきます。SNSなどの発信にもご注目ください。

#### 【 平和学習実行委員 】



横断幕 潮中より

中村 菜楓 総合司会・あいさつ  
福田 隼大 「嘉代子桜3世P」・あいさつ  
川原 煌生 「8月9日の平和学習」 紹介  
大木 梨愛 「丸田 和男 氏 被爆講話」 紹介  
濱崎 燦土 「高田 明 氏 講話」 紹介  
石黒悠真・浜地那月・川上竜斗・谷山葵 活動支援

#### パネルディスカッションを終えて

想いを持って活動している人たちを間近に見て、「平和で豊かな暮らし」は自分たちで創っていくものだということが分かりました。

また、当日の進行や発表、シナリオの作成や会場の準備を行うことで、それぞれ、表現力や企画・運営・段取りをする力を身に付けることができました。